



にしたて

ふるさとと共にかがやき、
よりよく生きる子どもの育成

～150年のありがとうを
丁寧な言葉と心を込めた振る舞いで伝えよう～

大館市立西館小学校 大館市比内町笹館字前田野77番地 (TEL55-0324) 令和6年7月号 (創立150周年)

オリンピック精神から学ぶ

明日から、子どもたちが待ちに待った夏休みです。1年生は、初めての夏休みです。「夏休み」という言葉には、胸をわくわくさせる響きがあります。夏休みは、34日間も続くのですから、当然だと思います。

もうすぐ「パリオリンピック・パラリンピック」が開催されます。子どもたちからも、オリンピックを楽しみにしているという声も聞こえてきます。「オリンピックは、勝つことよりも参加することに意義がある」、という「オリンピック精神」について語られた言葉があります。勝つことはもちろん大切ですが、勝つことより大切なことは何か、オリンピック精神について、終業式で子どもたちと三つ考えてみました。

一つ目は「努力」です。目標に向かって全力で取り組むことです。オリンピックに出場できる選手は、ほんの一握りの限られた選手だけです。選手達は、どんなに辛くても、苦しくても決してあきらめずに努力し続けます。オリンピック選手は、ひたすらに、純粋に努力することの大切さを教えてくれます。勝つことよりも「努力」が大切です。

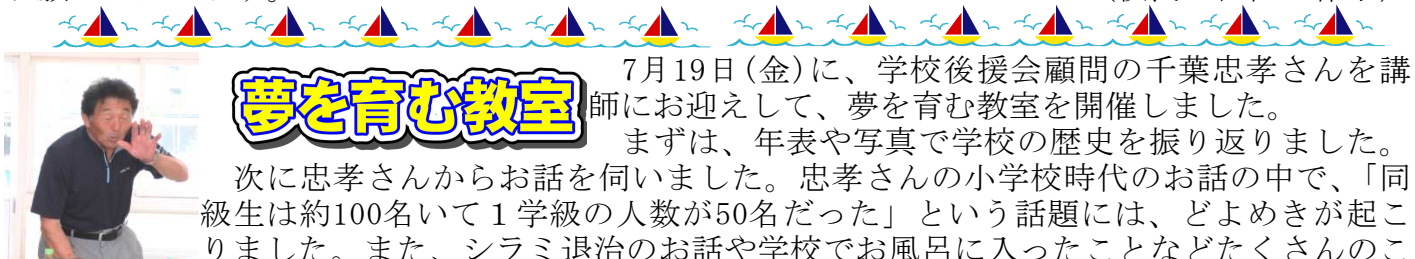
二つ目は、「友情」です。友だち同士が思いやる心のことです。スポーツでの喜びや、対戦相手との交流は人と人とを結び付けてくれます。選手同士が、お互いの国のユニフォームを交換している場面を目にすることがあります。対戦を通して、お互いへの理解を深め合っている姿です。「世界の平和」ということにもつながっていきます。勝つことよりも、人と人との結び付き「友情」が大切です。

三つ目は、「応援」です。拍手をし声をかけ、選手を励ますことです。オリンピックに出場するだけでもすごいことなのに、見ている私たちは、ついつい金メダルを期待してしまいがちです。選手のことを心から応援し、勝ち・負けにかかわらず、試合後には大きな拍手を送る、「応援」が大切ではないでしょうか。

この他にも、オリンピックやパラリンピックを通して、「協力」や「フェアプレー精神」など、学ぶことはたくさんあります。この夏、オリンピックやパラリンピックを通して「勝つことよりも大切なこと」は何か、ご家族でも考えてみてはいかがでしょうか。

今年も暑い夏になりそうです。有意義な夏休みを過ごせるよう、ご家庭、地域でのサポートをお願いいたします。

(校長 田山 律子)



夢を育む教室

7月19日(金)に、学校後援会顧問の千葉忠孝さんを講師にお迎えして、夢を育む教室を開催しました。

まずは、年表や写真で学校の歴史を振り返りました。

次に忠孝さんからお話を伺いました。忠孝さんの小学校時代のお話の中で、「同級生は約100名いて1学級の人数が50名だった」という話題には、どよめきが起こりました。また、シラミ退治のお話や学校でお風呂に入ったことなどたくさんのお話を教えていただきました。家族の皆さんからいただいた思い出話も子どもたちの心に響いたようです。子どもからは「学校でみんなとお風呂に入りたい。」という感想もありました。

会の最後に忠孝さんから「何事にも一生懸命取り組んでください。」というメッセージをいただきました。

PTA研修会 7月5日(金)

比内支援学校の教育専門監、藤田久美子先生を講師に迎え、「子どもの発達と子育て ～ペアレント・トレーニングから～」という演台でご講演をいただきました。良好な親子関係を築き、子どもの自己肯定感を高めるためポイントについて、演習を交えながら具体的に学ぶことができました。「肯定的な注目を増やすことによる好循環」や「ほめるときの5要素」は、学校でも、日常的に実践していきたい内容でした。



○第65回 大館北秋田児童生徒席書大会 (審査7/8)



○硬筆の部

1年優秀賞 阿部 侑莉 金谷 修志 斎藤 愛桜 高松 宗利 多賀谷里奈
 2年優秀賞 桂田こなつ 成田 美羽 花田 進羽 日景 絢美

○毛筆の部

銀賞 6年 菅原 昊明 高橋希愛 来 長谷部結羽 長谷部莉心
 5年 金谷 奏汰 鈴木 龍音

銅賞 3年 藤原 由彩 高松 晃教 藤原 芽生
 6年 岩澤 煌太郎 渡部 悠希 岸 のの
 5年 長田 琥太郎 富樫 諒飛 渡部 花
 4年 多賀谷 茉莉 富樫 諒飛 渡部 柚
 3年 岩澤 遥琉 金谷 媛佳 佐藤 汐南 菅原 千里 高橋 七彩
 羽沢 向葵 渡邊 愛



○熱中症対策標語コンテスト

優秀賞 6年 藤原芽生 「渴いたときにはもう遅い こまめに水分 適度に塩分」

○第24回成田節治杯大館北秋田ミニバスケットボール大会 7/6・7 大館市タクミアリーナ
 男子3位 ひないディヴェルフープス (富樫諒飛 羽澤樹希 柴田莉玖 高橋七彩 畠山大駕 藤島蒼 藤原大芽)

西館小学校 児童会
 計画委員だより
 発行日 2024年 7月12日
 発行部 5年 西館っ子会
 アルミ缶回収にご協力
 お願いします！
 今年も、比内地区の4校が協力
 してアルミ缶回収を行います。
 ●日時●
 8月20日火曜日
 午前6時30分～7時まで
 ●場所●
 各町内のラジオ体操の場所
 家で集めたアルミ缶を持って
 きてください。(協力お
 願い！)
 ●お願い●
 アルミ缶はつぶさないでください。
 中はよくすすいで持ってきてください。

アルミ缶回収

当日、午前7時以降に各町内に回収に回ります。お子さんのいない町内の方で、ご協力いただける方は、8月19日(月)～20日(火)の午前8時までに学校の玄関前に届けてください。

プルタブは付いていなくても構いません。水ですすいできれいにし、つぶさずに出してください。

収益金は、比内子どもサミットとして、大館市社会福祉協議会に寄付することになっています。

7/19の西館ミーティングで披露するために、全校児童からのアンケートを基に5年生が作った替え歌の歌詞を紹介します。

西っ子マーチ (150周年バージョン)

- 元気なあいさつ 広げよう
 やさしい 仲間と 協力だ
 地いきと つなぐ この歴史
 150年 ありがとう
 ハッピー ハッピー バースデー おめでとう
 ハッピー ハッピー バースデー 西館小
 笑顔の花を さかせるんだ
- 長い歴史を つなげよう
 がんばる ぼくら すてきだぞ
 明るい西館 つくるため
 地いきと 手を取り 助け合う
 ゴー ゴー ゴー ゴー レッツゴー 西館小
 次の未来に つなげよう
 ずっと仲よし 西館っ子 ヤー!

体育館に響く「助けて～！」の声

7月17日に、大館警察署スクールサポーターの近さんと生活安全課の加藤さんに来ていただき、不審者対応の避難訓練を行いました。今年度は、「いか・の・お・す・し」の確認の他に、不審者に遭遇してしまった際の間合いについても教えていただきました。また、全員で「助けて～」と大きな声を出す練習も行いました。



いか... 知らない人についていかない の... 知らない車にのらない
 お... おおきな声でさけぶ す... すぐにげる し... 大人にしらせる

教育視察

7月9日に、宮城県気仙沼市教育委員会による教育視察がありました。大館市教育委員会が受け入れてる事業で、この度、西館小学校が視察先に指名されました。気仙沼市教育委員会10名の先生方が来校し、5時間目の授業を参観されました。授業後は経営説明と協議、情報交換を行いました。

視察された先生から『教育理念が学校だけでなく、地域全体にも広がっていると感じました。』という感想をいただきました。

児童民生員訪問

7月8日に児童民生委員訪問がありました。委員の皆様には、町内子ども会にご参加いただいた後に子どもの様子についての情報交換を行いました。

その他の出来事

6月28日(金)6年高松晃教さん、藤原芽生さんが学校代表として、比内子どもサミットに参加

7月2日(火)1年生が西館保育園を訪問し、「おおきなかぶ」を発表

7月10日(水)、11日(木)に健康委員会による企画、運営の「なかよし遊び(チェコリ玉入れ)」開催

7月11日(木)1年生校外学習(二ツ山公園)、ALT(オリビア先生)が訪問し、4年、6年、3年で授業

7月12日(金)4年校外学習(山館浄水場、大館クリーンセンター)

7月16～17 各学団で着衣水泳を実施

7月18日(木)2年町探検(比内支援学校、前田野公園)

7月19日(金)西館ミーティング(5年担当)、1・2年生と西館保育園年長児のプール交流、おもちゃ組の読み聞かせ会(昼読書)

